

登録コード	MA730100	開講年度	2026			
授業科目名	母子看護学特論				担当教員	中込 さと子 他
英文授業名	Special Lectures in Child and Women's Health Nursing				副担当	金井 誠・中山 佳子・芳賀 亜紀子・徳武 千足・佐藤 奈保
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限 月曜・6時限	対象専攻 / 学年
講義室			授業形態	講義	授業科目区分	選択科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)					
	【保健学】高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。				母子看護学に関連する主要な理論や医学的知見、医療や看護実践の動向に関する知識を獲得する。	
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。				母子看護学に関連して追求する自己の研究探求テーマを検討し、研究テーマの背景や基盤となる知識を獲得する。	
(2)授業の概要	周産期前後のライフステージにある女性と家族、小児期にある子どもや家族の看護実践の基盤となる、概念や理論、種々の身体的機序、医療の現状や課題について、関連する研究や実践、教育を通して理解し、母子に関わる看護実践や研究の素地を培う。 本科目は、担当教員の医療機関における実務経験ならびに研究・教育経験を活かして実施する。 本科目は、男女共同参加に関連する内容が含まれます。					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	1. 周産期前後のライフステージにある女性と家族の看護実践の基盤となる概念や理論について、理論構築の背景や研究的な裏付けを通して理解する。 2. 小児期の子どもと家族の看護の基盤となる概念や理論について、理論構築の背景や研究的な裏付けを通して理解する。 3. 母子の主要な身体的メカニズムや小児期のを理解する。 4. 周産期・小児期の健康課題に対する研究的な裏付けや、医療について理解する。 5. 周産期・小児期の健康課題に対する医療支援体制・看護支援について理解する。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOS）	1. リプロダクティブヘルス・ライツに関連する主要な概念や理論について理論構築の背景を含めた、理論と関連する具体的な現象や看護実践について説明できる。 2. 小児医療・看護に関連する主要な概念や理論について理論構築の背景を含めた、理論と関連する具体的な現象や看護実践について説明できる。 3. 周産期の機序、医療について理解し、看護実践に結びつけて説明することができる。 4. 周産期に関わる女性の健康問題や先進医療について理解し、看護実践に結びつけて説明できる。 5. 小児期に関わる健康問題や、先進医療について理解し、看護実践に結び付けて説明できる。					
(5)授業計画	（受講学生と検討の上日程を調整する。下記日程は変更の可能性がある）1日2コマ 第1回オリエンテーション・イントロダクション 中込（4/13） 第2回 - 3回 徳武（4/20日） リプロダクティブヘルス・ライツの枠組みを踏まえ、思春期・青年期の性と生殖に関わる研究・教育・実践の在り方を探求する。 第4回 - 5回 芳賀（4/27） 周産期の家族支援と地域母子保健の概念を踏まえ、地域における支援体制の現状と課題を探求する。 第6回 - 7回 金井（5/1） 女性の健康にかかわる医学的な基礎と周産期に関わる先進医療をはじめとする優れた研究、実践、教育や周産期に関わる支援体制について論述する。 第8回 - 9回 佐藤（5/11） 小児医療・看護に関連する主要な概念や理論について研究的裏付けにより探求する 第10回 - 第11回 中山（5/18） 小児の神経発達、免疫と感染防御機構、先天性心疾患、消化器疾患の機序や医療について理解し、移行医療を含む支援体制について探求する。 第12 - 15回 中込（5/25、6/8） リプロダクティブヘルス・ライツに関連する主要な概念や理論について研究的裏付けにより探求する。 最終回到授業アンケート					
(6)授業の進め方	講義並びにプレゼンテーション，ディスカッションにより進めます。 この科目は複数の教員により担当します。学部講義、実習等の関係で日程を変更することがあります。 各講義担当者、あらかじめ日程や授業の進め方について打ち合わせを行い、テーマについての事前学習課題について準備を行って臨んでください。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	毎回の授業の前に次の担当教員と事前課題について事前課題の打ち合わせを行ってください（対面あるいはメールによる）。各講義担当者がその都度、事前、事後課題と、授業の進め方について提示します。 課題の内容は講義により異なります。テーマに関する講師の提示した文献を読んで自己の意見をまとめるもの、テーマに関連する文献検討を行い、授業内でプレゼンテーションを行うものなどが示されます。 本科目は90時間のうち授業時間60時間（2×2×15回）を除いた30時間（1回あたり平均2時間）は事前事後学習に費やされるものとなっています。 Web会議システムにより遠隔授業を行う際は、事前にアクセスID/パスワードを通知します。					

(8)成績評価の方法	各授業における、事前準備、プレゼンテーション内容とディスカッションの内容により総合的に評価します。基準については次項。										
(9)成績評価の基準	学生の理解度や事前学習内容、およびプレゼンテーションとディスカッションの内容の評価基準は以下とする。成績は、各担当者が評価の上、合議の上決定する。 ・各授業において、基本的な専門用語と概念を理解し、各授業において質問や説明、ディスカッションを行う際に、どの用語や概念を用いるのがふさわしいか判別できている場合に合格水準にある（可）とする。 ・合格水準に加えて、各授業のテーマについて、関連文献や事前学習などができており、自分の考えを述べることであれば、やや優れている（良）。 ・合格水準に加えて、主要な学説や研究を用いた裏付けのもとに、説明やディスカッションができ、かつ本テーマに関する課題や研究の可能性について言及できる（優） ・上記（優）の状況に加えて、授業におけるプレゼンテーション、ディスカッションの内容が教員を関心させるレベルにある場合は優れている（秀）とする。										
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問・相談は、授業時だけでなくメールでも随時受けつける。 教員連絡先 <table> <tr> <td>中込さと子</td> <td>snakagomi@shinshu-u.ac.jp</td> </tr> <tr> <td>芳賀亜紀子</td> <td>akihaga@shinshu-u.ac.jp</td> </tr> <tr> <td>徳武千足</td> <td>ctokuta@shinshu-u.ac.jp</td> </tr> <tr> <td>金井誠</td> <td>makotok@shinshu-u.ac.jp</td> </tr> <tr> <td>中山佳子</td> <td>ynaka@shinshu-u.ac.jp</td> </tr> </table>	中込さと子	snakagomi@shinshu-u.ac.jp	芳賀亜紀子	akihaga@shinshu-u.ac.jp	徳武千足	ctokuta@shinshu-u.ac.jp	金井誠	makotok@shinshu-u.ac.jp	中山佳子	ynaka@shinshu-u.ac.jp
中込さと子	snakagomi@shinshu-u.ac.jp										
芳賀亜紀子	akihaga@shinshu-u.ac.jp										
徳武千足	ctokuta@shinshu-u.ac.jp										
金井誠	makotok@shinshu-u.ac.jp										
中山佳子	ynaka@shinshu-u.ac.jp										
【テキスト，教材，参考書】	各教員が事前・事後学習の提示ならびに授業時に随時紹介します。										